

<p>合いことば</p> <p>知性白新 /                  明朗白新 /                  ファイト白新 /</p>		<p>教育目標</p> <p>知性の高い                  生徒になる</p>
--	--	---

白新中学校の教育活動にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。12月に実施した学校評価アンケートでは、65%の保護者の方々からご協力いただきました。学校評価アンケートをもとに、今年度の教育活動を振り返り、来年度の教育活動に繋げていきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 【令和6年度 後期学校評価アンケート結果(12月)について】

### 重点1 資質・能力を育む深い学びを目指した授業の充実

生徒アンケートの「(教科)が好き」の割合を重点1の一つの指標としています。表1は、生徒アンケート7月と12月の結果です。

<表1>

1「あてはまる」 2「ややあてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「あてはまらない」

生徒アンケートの項目	7月実施	12月実施
	1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)	1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)
①〇〇の教科は好きですか	73% (39%) ※ 9教科の平均	72% (44%) ※ 9教科の平均
②〇〇の教科は分かる。	79% (47%) ※ 9教科の平均	<b>88% (49%)</b> ※ 9教科の平均

子どもたちの資質・能力を高めるために、全教職員が自己の授業改善に向けて取り組んでいます。②「〇〇の教科は分かる」と肯定的に回答した生徒の数値が向上しました。「かかわりあい学びを深める授業」が展開されたことにより、前期以上に生徒たちが生き生きと授業に取り組む姿が多くみられました。



白新中学校がこれまで継続的に取り組んでいる「ファシリテーション (FT)」は、令和の時代において改めて注目されている手法です。来年度も、学校生活の場面で効果的に活用することができる「FTプログラム」を充実させながら、全教職員の授業改善とともに子どもたちが学びを深めるスキルを高めていきます。

## 重点2 リーダー経験を中心に自己有用感の向上を目指した活動の充実

前期評価を踏まえ、生徒の「自己有用感」を育むために、生徒の成長を具体的に価値付ける「ポジティブフィードバック」に取り組んできました。表2は、重点2に関わる生徒アンケートの7月と12月の結果です。

<表2>

1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」

生徒アンケートの項目	7月実施 1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)	12月実施 1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)
①自分の思いや考えを他者に伝えたり、発表したりするようになった。	79% (33%)	<b>82% (44%)</b>
②行事や学級、生徒会などの活動で、互いの個性を大切にしながら、協力して活動するようになった。	90% (57%)	<b>95% (67%)</b>
③互いの考えの違いを受け入れ、よりよい解決策を見つけることができるようになった	92% (49%)	<b>96% (56%)</b>
④目標に向けた取り組みを振り返りながら、継続して努力するようになった。	85% (35%)	<b>87% (41%)</b>

7月と12月の結果を比較してみると、肯定的な評価（1・2の合計）が向上しています。そして、「1 あてはまる」の数値が上がっていることは、生徒の振る舞いに対して、ポジティブなフィードバックを意識して取り組んだことに成果があったと考えます。昨年度から継続して、三人行事（体育祭・演劇発表会・合唱発表会）や、今年度実施した防災イベント後に、保護者の皆様から生徒の頑張りについての温かい感想を生徒へフィードバックしています。保護者からのメッセージに生徒たちは大変喜んで見られる様子が見られます。

生徒の具体的な姿をもとに肯定的な価値付けを行ってきたことで、生徒が「認めてくれた」「頑張りを見てくれる」という思いが、学校生活における安心感や「次も頑張りたい」という前向きな姿に繋がったと考えます。さらに、ポジティブフィードバックのように過去を振り返るメッセージだけでなく、「これからどうすべきか」という未来を見据えた考え方を引き出す「フィードフォワード」も重要だと考えます。フィードフォワード（未来）とポジティブフィードバック（過去）の両者を大切にしながら、子どもたちと関わっていきます。

このように、生徒を真ん中に置きながら、学校と家庭、地域が連携・協働しながら、子どもたちを育む環境づくりが何より重要だということに気づかされます。教職員のみならず、保護者、地域の方々からのポジティブフィードバック・ポジティブフィードフォワードを今後も継続して取り組みます。

## 重点3 自己理解につながる多様な価値観に触れる機会の充実

「地域と関わることを軸に自分の生き方を見つめ直す総合学習」の充実に取り組んでいます。具体的には、2月の職場体験や地域課題解決学習等、多様な価値観に触れる機会を設定しています。表3は、重点3に関わる生徒アンケートの7月と12月の結果です。

<表3>

1「あてはまる」2「ややあてはまる」3「あまりあてはまらない」4「あてはまらない」

生徒アンケートの項目	7月実施 1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)	12月実施 1・2の合計の割合 (そのうち1の割合)
①自分にはよいところがあります。	77% (32%)	<b>82% (46%)</b>
②地域や学校で先生以外の大人から褒められたり、認められたりして、嬉しいと感じることがよくあります。	83% (59%)	83% (55%)

③地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きです。	67% <b>(27%)</b>	65% <b>(34%)</b>
④地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります。	67% (37%)	71% (37%)

アンケート結果から、①の項目の数値が向上しました。これは重点2で取り組んだ「ポジティブフィードバック」の取組や総合学習で保護者や地域の方からの関わりによって高まったと捉えています。現在、1年生は職場体験、2年生は修学旅行、3年生は卒業発表会に向けて、様々な方と関わる中で学びを深めています。重点2と同様に、学校と家庭、地域が連携し、子どもたちの学びを支えていくことは非常に重要だと考えます。

一方で、③④の項目の数値は若干の向上はみられるものの、他項目と比較すると例年低い状況が続いています。地域のことを学ぶ活動や地域の方と触れ合う機会は多く設定できているのにも関わらず、子どもたちの学びの自覚が下がっていることは、昨年度同様の課題です。昨年度は、学びを「振り返る」ことで、自分の生き方を見つめ直すことに重点的に取り組みました。

## 重点4 個別の課題に応じた指導・支援の充実

前期学校評価でもお伝えしましたが、生徒一人一人が安全・安心に学校生活を送ることができる学校を目指し、次の4点に力を入れて取り組みを進めています。

- 教育相談の充実
- 睡眠教育による生活習慣改善（調査・支援）
- ケース会議を核とした課題把握と役割分担を明確にした指導・支援体制の強化
- 校内適応指導教室や保健室の活用ルールを明確にするとともに、関係機関との連携

表4は、重点4に関わる7月と12月のアンケートの結果です。

<表4>

1「あてはまる」 2「ややあてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「あてはまらない」

生徒アンケートの項目	7月実施 1・2の合計の割合（そのうち1の割合）	12月実施 1・2の合計の割合（そのうち1の割合）
①困ったことがあれば誰かに相談することができる。	83% (53%)	88% (55%)
②学校の中に居心地のよい場所がある。	92% (58%)	92% <b>(64%)</b>

アンケート結果から、12月の数値が向上しました。「新潟市いじめアンケート」や「教育相談アンケート」等を活用しながら、多面的に子どもの悩みや困り感に寄り添いながら取り組めた成果であると捉えています。これまで以上に、子どもたちが安全・安心に学校生活を送れるように取り組んでいきます。

昨年度は、学校保健活動の一環として、睡眠教育を実施し生活習慣の改善に向けた取り組みを推進しました。今年度は、定期的な睡眠教育が実施できなかったためか、平日の睡眠時間が少ない生徒の割合が、新潟市平均よりも多い状況が見られました。睡眠不足によって、さまざまな健康上のトラブル、学業成績などのパフォーマンス低下と関連していることがさまざまな研究から明らかになっています。ご家庭でも話題にいただき、心身ともに大きく成長する重要な中学校の時期に、健康な日常生活を送れるよう、ご家族全体で取り組みながらお子さんの睡眠習慣の改善にご協力くださいますようお願いいたします。

**4つの資質・能力について**

資質・能力を「生徒」「教員」「保護者」の三者にアンケートを実施し、数値からその意識の違いを分析し、今後の指導・支援に繋げていきたいと考えています。次の表5は三者アンケートの結果です。

**<表5 資質・能力に関わるアンケート結果>**

1「あてはまる」 2「ややあてはまる」 3「あまりあてはまらない」 4「あてはまらない」

資質能力	生徒の項目		教員の項目	保護者の項目	前期 7月 後期 12月	生徒 「1」 「2」 の合計	教員 「1」 「2」 の合計	保護者 「1」 「2」 の合計
	自ら考え判断する	1	何かを選ぶときや決めるとき、なんとなくではなく理由や根拠をもとに考えるようになった。	生徒が何かを選ぶときや決めるときに、その理由や根拠を問うようにしている。	何かを選ぶときや決めるときに、お子さんに自分なりの理由や根拠を確認した上で自己決定させるようにしている。	7月	91	96
					12月	93	95	93
	2	何かを選ぶときや決めるとき、他者の考えを含めて考えるようになった。	生徒が何かを選ぶときや決めるときに、多数決ではなく、対話を通して合意形成するように働きかけている。	お子さんが、何かを選ぶときや決めるときに、他者の考えを聞いた上で自分の考えを決めさせている。	7月	92	92	91
					12月	94	90	89
自分の思いを表現する	3	自分の思いや考えを他者に伝えたり、発表したりするようになった。	生徒が自分の思いや考えを伝えたり、発表したりする機会を設定している。	お子さんの話をさえぎらずに、最後まで聴くようにしている。	7月	79	91	79
					12月	82	95	80
	4	自分の思いや考えを伝えるときに、伝え方を工夫するようになった。	日常の授業の中で、相手に伝わりやすい表現方法の工夫を指導・働きかけている。	お子さんに話をするときは、伝わるように話をしている。	7月	81	78	95
					12月	89	90	89
認め合い励まし合う	5	行事や学級、生徒会などの活動で、互いの個性を大切にしながら、協力して活動するようになった。	行事や学級、生徒会などの活動で、リーダーとフォロワーについて働きかけ、よりよい関係づくりに取り組んでいる。	お子さんと、家庭で自分がやりたいことや頑張っていることについて話している。	7月	91	88	90
					12月	95	95	89
	6	互いの考えの違いを受け入れ、よりよい解決策を見つづけることができるようになった。	対話を通して納得解を見出すように働きかけている。	お子さんと、他の生徒のよいところや頑張っている様子を話している。	7月	92	83	83
					12月	96	90	84
挑戦しやり抜く	7	自分の成長に向けて、前向きな目標をもつようになった。	生徒が自分を成長させる具体的な目標をもてるように働きかけている。	保護者の生活・趣味・仕事など、目標をもって努力していることについて話したりしながら、目標をもつ大切さを伝えている。	7月	83	70	81
					12月	86	100	76
	8	目標に向けた取り組みを振り返りながら、継続して努力するようになった。	生徒が目標に向けて挑戦・努力しているプロセスを具体的に価値付けている。	お子さんが継続して努力していることを見つけて伝えている。	7月	85	83	84
					12月	87	90	81

7月と12月の数値や日常の生徒の姿から、全体的に資質・能力が高まっています。子どもたち一人一人の成長が様々な場面で見られ、教職員にとって嬉しい場面がたくさんあります。子どもたちがさらに成長していける環境を学校と家庭、地域で連携して今後も取り組んでいければと思います。

表5の項目3の数値は、昨年度子どもたちの数値は高くありませんでした。「自らの思いを表現する」の資質・能力に課題があることが分かりました。白新中学校で求める「自らの思いを表現する」は、自分の考えを一方向的に伝えるものでなく、他者を理解し、その上で工夫して伝える姿です。このような姿を目指していくためにも継続して「他者理解」を子どもたちにより醸成していきたいと考えています。

## いただいた質問・意見への回答

不審者への対策にかかわること	
いただいた質問・意見	回答
<p>・不審者事案が発生した時は放課後活動を取りやめにするなど、早く帰れるようにしてほしいです。</p> <p>・最近、不審者情報が増えていて、心配です。冬場はあまり暗くならないうちに下校させるなど対策を講じてほしい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>不審者事案が発生した際には、今後も、教育委員会や警察の指導を仰ぎながら対応を進めます。緊急時には、「安心メール」にて即時に情報発信を行います。また、日々、生徒が安心して登下校できるよう学校でも生徒へ指導いたします。</p> <p>ご家庭におかれましても、登下校における安全対策についてご指導いただきますようお願いいたします。</p>

教育活動にかかわること	
いただいた質問・意見	回答
<p>職場体験について、医療系の職場体験があると有難いと考えています。小学校では、我が子の学年は医療系の職場の話聞く機会がなく息子は残念がっていました。将来の職業選択として、小中学校で一度は医療系の話も聞けると有難いです。</p>	<p>様々な職種が網羅できるよう地域教育コーディネーターとともに準備しております。職場体験に限らず、「働くこと」について学びを深める教育活動が展開できるように努めます。</p>
<p>行事などの都合もあるかと思いますが、第三テストの実施が昨年度より早かったのはなぜなのかなと疑問に思いました。</p> <p>テストの難易度について、テストごとにより違いがある教科があるように感じます。また度数分布も偏りがあり、定期テストが学力確認の参考になっていないのではないかと感じます。問題作成は大変な作業だと思いますが、どのように作成しているのでしょうか？</p>	<p>合唱発表会の会場を「りゅーとぴあ」で行うため、1年以上前からの予約をしております。希望する日程が予約できなかった場合に、テスト日程が多少前後することがあります。</p> <p>評価材料の一つとしてテストを実施しています。テストの作成については、学習した内容からテストで評価するに妥当な内容を精選し出題しています。毎回の分布が偏りなくテストを標準化されたものとするのは、その時々学習内容や出題内容の違いから限界があります。ご理解いただきたいと思います。今後も生徒にとって、学んだことの確かな振り返りにつながるよう努めてまいります。</p>
<p>学校の予定をもっと早めに教えて欲しいです。</p> <p>進路の動画を配信していただけたらとの事でしたが、まだ確認出来てません。予定が変わったのなら連絡をしっかりとってほしいです。</p> <p>進路はこれからの子供の大切な事なので、時間が作れず学校に聞きに行けなかったのも申し訳ないのですが、音楽発表会後すぐにでも連絡も約1週間仕事をしている両親は休みの調整が難しい家庭が多いと思います。</p>	<p>できるだけ早くお伝えしていきます。各種行事、保護者懇談会等、事前に決まっているものについては年間行事計画をご確認ください。</p> <p>今後も生徒と保護者の皆様によりよい進路選択ができるように努めていきます。何かご不明なことやご心配なことがあれば、いつでも学級担任や進路担当にご相談ください。</p>
<p>学校の行事やイベントなどのポスターを地域の人に貼ってもらえるようお願いするときにお店側に事前に連絡を入れず子どもたちのみで自由にお願いをしに行くのはトラブルに巻き込まれないか、またお店側に迷惑ではないか心配になります。地域の方との交流は良いことだと思いますが、事前に承諾を得られたお店のみをお願いに行かせるなどしていただくと安心します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>地域の方々と生徒とともに白新中学校らしい魅力ある活動の創出に向けて、気持ちよく活動が展開できるよう進めてまいります。</p>

## 部活動改革について

## いただいた質問・意見

- ・クラブの地域移行について、学校との認識にズレを感じる。学校は急いで切り離したい様子であるのに対し、関係者はゆっくりと理解し受け入れていく努力をしている段階である。それぞれの立場を考える必要はあるが、子どもが良くも悪くも大きな影響を受けることを私たち大人は最も留意すべきではないでしょうか。
- ・前回のアンケートのご回答に、学校によって取り組みにずれがあり、課題がたくさんあり、生じた問題の解決に向けて、保護者の協力を得ながら生徒のやりたいを叶える部活動地域移行、展開を目指しているとおっしゃってありました。2年間の地域移行後の活動を見ていると、中々今までの部活動の時と同じような活動が出来ていないように感じます。そして、それぞれの部活動への現状の聞き取り調査やアンケートが行われていることもなく、学校側と地域双方の意見を交わす場がないように感じております。先進的に地域移行、新しいことをすすめるのはとても大変で困難であることは存じ上げますが、地域移行後も懸命に練習に励む子供たちやサポートして下さる指導者の方々の為にも、現場の声をヒアリングし問題点を改善して、他校の見本となって頂けることを期待しております。保護者としましても、その為にサポート出来ることをしていきたいです。
- ・白新ソフトテニスクラブに所属していますが、コーチから長期休みに17時から19時の練習になるかもと言う話を聞きました。夕方、それも春休みであればまだ日没も早く、ソフトテニスのボールは小さいですし、うちの娘は目が悪くボールが見えません。ナイター施設もないなかで、何故そんな時間からに限定されるのか疑問でした。先生方は全く活動にかかわらず、ほぼ専用のテニスコートがあり、外部コーチが鍵の開け閉めも担当し、校舎内に入ることもない状況ですし、日中練習させてやってほしいです。学校運営協議会の場で白新ユナイテッドについて議論されたり、学校利用のことも話し合われたりしていると聞きました。体育館をバスケットとサッカーとソフトテニスで三分の二ずつの時間を割り当てて下さるなら理解もできますが、サッカーもソフトテニスも天気良ければ外で活動できます。時間を昼間にするだけで、バスケの活動時間も多くできるでしょうし、地域クラブを応援すると言う立場でぜひご理解いただきたいと感じます。  
ソフトテニスは現在2年生が8名、1年生が6名、合計14名が練習に打ち込んでいます。この子どもたちが3年生の6月の大会まで精一杯打ち込めるように後押ししていただければと思います。  
この件をどこに願いますれば良いのか分からず、ここに記載させていただきました。何卒よろしく願います。
- ・現段階で、長期休み中の体育館利用が平日の17～19時(土日は終日)しかできない状態です。今年の冬休みは、ソフトテニスクラブは再度のお願いで平日昼間の使用許可をもらえたようですが、このままでは春休み以降、平日の昼間活動できなくなってしまいます。この話を聞いて、子供はとても残念な気持ちになっています。子供達のやる気を削がないでください。子供ファーストをお願いします。子供達や指導者、保護者の意見も取り入れて、地域移行によってクラブの活動時間が少なくなることはないよう願います。
- ・部活動地域移行が上手く機能していないように感じます。学校の時間や放課後活動と、白新ユナイテッドを切り離す考えのあまり、生徒達のためになっていないのではないのでしょうか？日暮れが早い時期も長期休みも白新ユナイテッドの時間が17時以降というのは再考の余地があると思います。放課後活動については、学校行事に向けて放課後に活動をする生徒も少なくないので、小さな活動にあれこれ手を出すより、数ヶ月毎に区切る等して年間を通していくつかの競技や活動を行う方が生徒達も参加しやすく人数も集まるのではないかと思います。一度、地域移行について保護者向けにもアンケートやアイデア募集などしてみたいはいかがでしょうか？
- ・2年が経とうとしていますが、放課後デザイナーと白新ユナイテッドにおけるそれぞれの立場での意見や現状を聞く機会や場がないのが残念です。課題や成果も、教育委員会やスポーツ庁に情報提供するだけでなく、生徒や保護者、地域クラブにもよろしく願います。
- ・部活がなくなりましたが、学校外でスポーツや活躍している生徒たちの頑張りをもっと伝わると良いなあと思います。

## 回答

たくさんのご意見ありがとうございます。

当校の部活動改革は、生徒の興味関心に応じて、「やりたい」が実現できる「放課後デザイナー活動」による新たな教育活動の創出と、地域で担う「白新ユナイテッド」の所属クラブの協力を得ながら、白新地域のスポーツ・文化環境を整え、学校と地域で協働しながら魅力ある地域づくりに向けた活動を推進いたします。

いただいた意見を参考にしながら、白新ユナイテッド事務局が学校運営協議会に情報提供いたします。また、白新ユナイテッドに所属しているクラブの指導者および全小中学生、その保護者にアンケートを実施し、幅広い意見を得ながら、魅力あるクラブ経営に向けた研修会が、学校運営協議会主催で2月に実施されます。ぜひ保護者の代表の方からご参加くださいますようお願いいたします。

生徒に関すること	
いただいた質問・意見	回答
よく配慮していただいていると思います	ありがとうございます。
子どもが安心して通える学校生活環境をありがとうございます。	今後も「知性の高い生徒になる」の教育目標のもと、日々の授業を大切にしながら、各種行事や放課後活動等の教育活動において、生徒の資質・能力の育成に努めます。
今年も大変お世話になりました。 健やかに明るく過ごせていることが生きる強みです。子ども達みんなに多くの幸せが降り注ぎますように。 来年もよろしく願いいたします。	

その他	
いただいた質問・意見	回答
女子トイレの数を増やしてもらいたいです	以前からの働きかけにより、昨年度、女子トイレの洋式化を進めることができました。 トイレの改修も含め、よりよい環境となるよう、今後も引き続き教育委員会に働きかけていきます。
iPadの使用時間に制限をかけてほしいです。	ご家庭でのタブレット端末の利用状況において、目に余る様子があれば、家庭と役割分担をしながら、より良い方向へ支援できればと考えております。お気軽にご相談ください。
先日の進路説明会が難しく理解できませんでした。	本人が望む進路選択が実現できるよう学年たよりや進路たより等で保護者の方々にも情報共有をしています。お気軽にご相談ください。